



広報2015-04 1月18日(日)アラブ首長国連邦(UAE)のアブダビでJCCP研修生OB,OGの集いが開催されました。宮沢経済産業大臣、マイサUAE国務大臣の出席の下、アブダビ国営石油(ADNOC)スウェイディ総裁とJCCP中井代表執行理事・専務との間で今後の人材育成と技術分野での交流強化で合意しました。

(写真左 スウェイディ総裁と中井専務との交流強化の書簡交換後)

(写真右 左から4人目 宮沢大臣、5人目 マイサ大臣、6人目 加茂日本国大使、7人目 スウェイディ総裁、8人目 中井専務)

以下にプレスリリース記事を掲載しました。

JCCP-ADNOC: 人材育成と技術分野での交流強化で合意(UAE)

【平成27年1月18日アブダビ】アラブ首長国連邦アブダビのインターコンチネンタル・ホテルにて、JCCP(国際石油交流センター)研修生OB、OGの集いが開催され、宮沢洋一経済産業大臣、マイサ・アル・シャムシ国務大臣の出席の下、アブダビ国営石油会社(ADNOC)スウェイディ総裁とJCCP中井毅代表執行理事・専務との間で今後の協力関係強化に関する書簡の交換を行いました。

1. JCCPとADNOCとの書簡交換について

JCCPとADNOCとの間で行われた書簡交換は、これまでの長期にわたる交流により築いてきた友好関係のさらなる関係強化を図ることを目的として、双方がさらに協力して事業に取り組むことを確認するためのものです。今般、アブダビで開催された「第2回JCCP研修生OB・OGの集いin UAE」において、宮沢経済産業大臣とマイサ国務大臣の出席を頂き、実施しました。

2. JCCP(一般財団法人 国際石油交流センター)について

JCCPは数度にわたる石油危機の経験を踏まえ、経済産業省(当時通商産業省)の支援も得つつ、1981年に設立して以来34年間にわたり、産油国に対する石油精製分野の人材育成や技術協力等を通じて友好関係を増進し、我が国の石油の安定供給確保に貢献すると共に、日本の石油精製技術開発や製油所の安全かつ効率的な運営方法、環境・公害対策、販売、マーケティング、女性研修等々、日本が有する様々な経験を活かしてUAEに協力してまいりました。

3. JCCPとUAEの関係

JCCPはUAEにおいて、ADNOCを相手方として以下のような事業を展開しています。

(1)人材育成事業

- ・受入研修生数 722名 (1981年の設立以来2015年度末で800名を超える予定)
- ・従来の事業で50名程度の研修を実施しており、それに加えて今年度は新たに、2013年の安倍総理とムハマドUAE副大統領・ムハマドアブダビ皇太子との日UAE共同声明で発表された研修プログラムに基づき60名程度を予定(以降5年間で250名の事業を予定)。従って、今年度は100名規模の事業を予定。

(2)技術協力事業

- ・日本が協力してきたアブダビ国営石油会社(ADNOC)グループのタクリール(アブダビ石油精製会社TAKREER)リサーチセンター(TRC)における石油精製技術の共同研究を引き続き実施予定。
- ・さらに、先方の関心に応える形で、今年度から環境保護などの問題についてのスタディーを実施。
- ・ADNOCとJCCPは引き続き技術協力を進めると共に新しい技術協力案件の機会を検討していく。

(3)国際会議・要人招聘

- ・日本での国際シンポジウムや要人招聘事業を通じて、UAEの要人を日本へ招聘。

(4)定期レビュー

- ・ADNOCとJCCPはトップレベルで年に少なくとも1回、事業の進捗をレビューすると共に、今後の更なる協力のための事業の優先順位を議論していく。